



左：天敵 チリカブリダニ 右：害虫 ハダニ



天敵 安全な野菜栽培

オーガニックブームの中、安全な野菜を求める声は年々高まっています。減農薬は消費者も生産者も求める方向です。有機栽培・無農薬栽培を目指すにしても何らかの方法で対応しなければ虫だらけの農作物になったり、収穫できなくなったりしてしまいます。いろいろな方法がありますが、最近では性フェロモンの利用や天敵利用の害虫対策が全国的にとり組まれています。

天敵昆虫の種類

天敵昆虫は害虫を食べることで防除するタイプと、害虫に寄生して防除するタイプに大別されます。天敵は、日本では農薬取締法の中で扱われ数々の検査をクリアして登録とされています。現在の天敵の登録は、コナジラミ類に対するオンシツツヤコバチ、ハダニ類に対するチリカブリダニが先行し、ハモグリバエに対するコマユバチ・ヒメコバチ、そして今年の春にアブラムシ類に対するアブラバチ・シヨクガタマバエ、スリップス類に対するククメリスカブリダニ、と続々と登録が進められています。

山武では今

これまでの試験結果からこれらの天敵類は、ハウス栽培など隔離された空間で良く害虫をコントロールするため冬から春にかけてのハウス密閉期間が栽培期間となるトマト・いちごで実際に効果をあげています。

そこで山武郡市では、いちごでチリカブリダニ・アファイパーの体系防除でハダニ・アブラムシの防除を行っています。収穫期間中の害虫防除の薬剤散布をしないか又は極力減らし、安全ないちごの供給に向けて技術の確立に取り組んでいます。
(野菜科 塩崎 桂司)



問い合わせは、
普及センター
松尾 駐在
86-4121~2へ

文芸

俳句

枝川の逆流もあり秋出水

藤代 ゆう

秋茜翅きらめかせ川渡る

福田 晴一

とんぼ飛ぶ里に住ひて老静か

若梅あやめ

蜻蛉やなに考へる首かしげ

今関 茂生

軒下の匂ふ粟草秋彼岸

福田 幸子

弟の五才に逝きし秋彼岸

戸村 静華

土用干し祖父達筆の備忘録

土屋 栗水

讀経の声の澄みくる秋彼岸

玉虫たけし

家族会議猫の名決める長き夜

小林 順子

目閉ずれば見ゆる御佛彼岸空

選者 山口 一秋

短歌

取り込みを忘れし私のワイシャツ
が物干し竿に月を見てゐる

萩原 信一

戦死せし夫へ下賜されし香を薫く
五十三回目の終戦記念日

秋葉 とく

遠住める娘の送りきし絵手紙が長
病む媼の枕辺にあり

秋葉 悦子

もらひ来し白き花咲く夜来香せつ
なき迄に夜を香れり

西山満里子

持つ力総てを出して応へたし頼り
くれます事の嬉しさ

吉岡 信子

光りつつ群なし空翔ぶ白鷺の我が
視界より遠ざかりゆく

宇井 ちい

スクリーンの地図に映れる赤き点
今航行の位置を示すと

押尾 輝子

病む窓の視界はせまし見慣れたる
川にも日目の表情はあり

土屋 栗水

我が家の前に抄る福祉センター建
設技術の進歩を思ふ

向後 房

声を出すカラオケ楽し下手ながら
寿学級にけふも出できぬ

石井 ユク

野良着のままパーマかけたるご婦
人が姉さんかぶりしバイクで去りぬ

中越美代子

素足にて踏みてゆきたし青苔の盛
り上りゐるそのふくらみを

選者 斎藤つね子

※10月号の福田幸子さんの句で、
「蟬を聞くや…」と掲載しまし
たが「初蟬を聞くや…」の誤り
でした。お詫びして訂正します。